

○ 水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会

<事務局>

埼玉県 県土整備部 河川環境課、環境部 水環境課

<設置目的>

水辺の保全と経済活動の両立のため、企業・団体等の持続可能な官民連携協働スキームの構築を目的とする



<これまでの取組状況>

●令和3年度（水辺の企業マッチング）

- ・生命保険会社がユニバーサルデザインヨットの普及を進めるNPOに対し、車いす利用者のヨット乗降用リフトを寄贈
- ・生涯学習を推進するNPOと釣り餌メーカーが連携して、筏づくりとはじめての川釣りリバービーチキャンパスを開催

●令和4年度（水辺の利活用だけではなく、より環境に配慮した取組も）

- ・生物多様性戦略を踏まえ調節池のOECM位置付けを目指す自然共生サイトの勉強会
- ・横瀬町官民連携PF「よこらぼ」と連携し新たな水辺の利活用社会実験に向けた研修会

●令和5年度（「利活用×環境保全」をテーマに、水質改善や環境保全を検討）

- ・生物多様性戦略を踏まえ調節池のOECM位置付けを目指しフィールドワークを実施
- ・横瀬町官民連携PF「よこらぼ」と連携し新たな水辺の利活用社会実験に向けたワークショップを実施
- ・大相模調節池で水質改善等実証実験の実施

○ 水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会

<令和6年度の実施内容>

- 環境保全、水質改善、利活用を考えるプロジェクトを継続
- プロジェクトチーム
 - ・ **自然共生サイトPT**…調節池のOECM位置付けを目指しワークショップを行い、「企業・団体と連携した持続的な維持管理スキーム」の検討
 - ①多様な主体との連携により実現可能性がある維持管理メニューの検討、調整
 - ②上記メニューの試行
 - ・ **大相模調節池PT**…水質浄化を目的に設置する「浮く畑」において、「環境保全と合わせた賑わい施策の実現」の推進
 - ①若者目線の水辺利活用アイデアの実装
 - ②環境保全・観光利用を両立した水上活動拠点の検討
 - ・ **調節池利活用PT**…地域特性を踏まえた新たな利用策を見出し活用を促進するため、「企業、学生、行政が共同で利活用アイデアの創出」を図る。
 - ①利活用に向けた意見交換、実地視察会・勉強会、活用モデル構築検討

<特に連携していきたい業種>

学術研究、専門・技術サービス業、飲食サービス業、教育、
学習支援、市町村 等



水環境改善
大相模調節池（越谷市）「浮く畑」